



# 磨き上げモニター調査

## 第一回報告書

平成 28 年 7 月

株式会社クリケット「季刊高知」編集部

## 目次

---

調査の概要 .....	3
1. 現状・課題 .....	3
2. 調査の目的 .....	3
3. 実施要項 .....	3
4. 調査結果の見方 .....	3
5. モニター参加者 .....	4
6. 調査票 .....	5
調査結果 .....	8
1. 駐車場 .....	9
2. 土佐の植物生態園.....	10
3. 回廊 .....	11
4. 展示館中庭（牧野博士ゆかりの植物） .....	12
5. さくら・つつじ園・薬用植物区・芝生広場.....	13
6. 連絡道・展望台 .....	14
7. 混々山 .....	15
8. 土佐寒蘭センター.....	16
9. 資源植物研究センター.....	17
10. 日本伝統園芸植物観賞棚.....	18
11. ガーデンショップ「nonoca（野の花）」 .....	19
12. 温室 .....	20
13. 少年広場・結網山.....	21
14. 50周年記念庭園・蛇紋岩植生園・石灰岩植生園.....	22
15. 曲水の庭・お馬路・牧野富太郎像.....	23
16. その他、園全体に関する事柄等.....	24
総評（分野ごとの視点） .....	26

## 調査の概要

---

### 1. 現状・課題

高知県立牧野植物園は、「植物分類学の父」と称される牧野富太郎博士の功績をたたえた博物館や研究機関としての機能と観光施設としての機能をあわせもつ総合型植物園である。

一方で、入園者数は開園50周年にあたる平成20年度の年間20万人をピークに減少傾向にあり、新たな魅力を創出する必要がある。

### 2. 調査の目的

全国の植物園を先導する総合植物園として、また、県外からも誘客できる観光の拠点施設として、県立牧野植物園の新たな魅力を創出するため、今年度から磨き上げ整備基本計画の策定を進めている。

このモニター調査は、県内の様々な分野から数名に牧野植物園を視察した上で、グループディスカッションを通して園への評価（強み・弱み）や意見を集約し、牧野植物園の日頃の運営や磨き上げ整備の基礎資料とすることを目的としている。

### 3. 実施要項

日時：1回目 平成28年5月29日（日） 9:00～13:00  
2回目 平成28年6月2日（木） 9:30～13:00

場所：高知県立牧野植物園 本館窓口前集合  
主催者あいさつ～園内視察～グループ協議～昼食

### 4. 調査結果の見方

報告書内に使用している図の構成比は、小数点以下第二位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## 5. モニター参加者

	分野	所属	来園頻度
1	教育	市立小学校 校長	しばらく来たことがなかった（最後に来たのは2015年頃）
2	教育	私立小学校 校長	年4回（シーズン毎など）以上
3	教育	市立小学校 特別支援学級担当教諭	2～3年に1回程度
4	教育	市立小学校 学校事務担当	年2回程度
5	高齢者	社会福祉協議会 事務局長	2～3年に1回程度
6	高齢者	高齢者団体 会長	年4回（シーズン毎など）以上
7	高齢者	社会福祉法人 介護課長	年2回程度
8	高齢者	社会福祉法人 総務課長	しばらく来たことがなかった（最後に来たのは1995年頃）
9	高齢者	社会福祉協議会 介護事業所長	年2回程度
10	外国人	語学ボランティア	年1回程度
11	観光	観光ガイドボランティア	年1回程度
12	観光	交通事業団体 副会長	しばらく来たことがなかった（最後に来たのは1971年頃）
13	観光	交通事業団体 常任理事	年1回程度
14	観光	観光協会 事務局長	年2回程度
15	自然環境	自然環境団体	しばらく来たことがなかった（最後に来たのは2010年頃）
16	子育て	子育てサークル	しばらく来たことがなかった（最後に来たのは2014年頃）
17	子育て	子育てサークル	しばらく来たことがなかった（最後に来たのは2012年頃）
18	子育て	子育てサークル	年1回程度
19	子育て	子育てサークル	しばらく来たことがなかった（最後に来たのは2014年頃）
20	観光	語学ボランティア	年1回程度
21	観光	語学ボランティア	年1回程度
22	観光	語学ボランティア	しばらく来たことがなかった（最後に来たのは2013年頃）

## 6. 調査票



### 高知県立牧野植物園磨き上げモニター 調査票

平成28年 月 日 高知県立牧野植物園

#### ◎ご記入に当たってのお願い

- ・ 園内をご覧になって、その評価やお気付きのこと等をご記入ください。
- ・ この調査票をもとにグループ討議を進めます。
- ・ この調査票は本日のモニター調査終了後に回収します。

#### 1 はじめに(あなた自身のことについて)

・ ご所属名 \_\_\_\_\_

・ ご氏名 \_\_\_\_\_

・ ご来園の頻度等

※最も当てはまる選択肢の番号に○印を付け、「5」、「7」に当てはまる場合は、その内容を( )内にご記入ください。

1: 年4回(シーズン毎など)以上      2: 年2回程度      3: 年1回程度      4: 2~3年に1回程度

5: しばらく来ることがなかった →最後に来たのはいつ頃ですか? ( \_\_\_\_\_ 年頃 )

6: はじめて来た      7: その他( \_\_\_\_\_ )

#### 2 評価

※最も当てはまる選択肢の番号に○印を付け、その理由やお気づきのこと等を( )内に具体的にご記入ください。

##### 1) 駐車場

①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気づきのこと等(具体的にご記入ください。)

{ \_\_\_\_\_ }

##### 2) 土佐の植物生態園

①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気づきのこと等(具体的にご記入ください。)

{ \_\_\_\_\_ }

##### 3) 回廊

①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気づきのこと等(具体的にご記入ください。)

{ \_\_\_\_\_ }

4) 展示館中庭(牧野博士ゆかりの植物)

- ①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

5) さくら・つつじ園・薬用植物区・芝生広場

- ①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

6) 連絡道・展望台

- ①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

7) 混々山

- ①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

8) 土佐寒蘭センター

- ①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

9) 資源植物研究センター

- ①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

10) 日本伝統園芸植物観賞棚

- ①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

11) ガーデンショップ「nonoca(野の花)」

①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

12) 温室

①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

13) 少年広場・結網山

①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

14) 50周年記念庭園・蛇紋岩植生園・石灰岩植生園

①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

15) 曲水の庭・お馬路・牧野富太郎像

①大変良い      ②良い      ③普通      ④悪い      ⑤大変悪い

◆理由・お気付きのこと等(具体的にご記入ください。)

[ ]

16) その他お気付きのこと、ご意見をご記入ください。

[ ]

## 調査結果

表) 各視察エリアの評価点

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	無回答	平均点
駐車場	1	7	8	3	1	2	3.20
土佐の植物生態園	6	10	4	0	1	1	3.95
回廊	4	9	7	2	0	0	3.68
展示館中庭	4	6	9	1	0	2	3.65
さくら・つつじ園・薬用植物区・芝生広場	5	11	6	0	0	0	3.95
連絡道・展望台	0	11	11	0	0	0	3.50
混々山	0	3	7	9	0	3	2.68
土佐寒蘭センター	0	5	11	5	0	1	3.00
資源植物研究センター	6	10	3	0	0	3	4.16
日本伝統園芸植物観賞棚	4	9	5	2	0	2	3.75
ガーデンショップnonoca	1	4	12	1	0	4	3.28
温室	8	8	3	1	0	2	4.15
少年広場・結網山	3	7	3	4	0	5	3.53
50周年記念庭園・蛇紋岩植生園・石灰岩植生園	6	8	5	1	0	2	3.95
曲水の庭・お馬路・牧野富太郎像	3	7	5	1	0	6	3.75

※ 表内の   部分は、視察エリアごとの第一位。

※ 平均点は、大変良い=5点、良い=4点、普通=3点、悪い=2点、大変悪い=1点とし、有効回答数を母数とした平均値。

アンケート用紙で得られた視察エリアごとの評価をみると、平均点が最も高かったエリアは「資源植物研究センター」で4.16点となっている。次いで、「温室」が4.15点、「土佐の植物生態園」「さくら・つつじ園・薬用植物区・芝生広場」「50周年記念庭園・蛇紋岩植生園・石灰岩植生園」が3.95点と続いた。最も平均点が低かったエリアは「混々山」で2.68点という結果になっている。



## 1. 駐車場

### 【意見】

- 陽射しが強いつ、雨天時などは、子ども連れであると遠い場所から歩くことが大変だと感じる。(観光)
- 現地に行ってみないと満車かどうかわからない。(観光)
- 第二駐車場があることが伝わっていないことがある。(観光)
- 路面の凹凸が駐車する際に気になる上に、子どもは転びやすく危険だと感じる。(教育／観光)
- 明瞭なラインがないために駐車位置がわかりづらく、輪留めが目立たない。(観光／高齢者)
- 降車後、正門の方向がわかりづらく、戸惑ってしまう。(子育て)
- 雨天時、車椅子利用者と介助者は屋根等がないために雨に濡れてしまう。(高齢者)
- 駐車台数が少ない。(教育)
- 駐車場所を探している際、場内が一方通行であるため、後ろに続く車に急かされるようで気ぜわしく感じることもある。(外国人)
- 第一駐車場がわかりにくく、手前の駐車スペースや奥の第二駐車場に意図せず入ってしまうケースが多い。(教育)

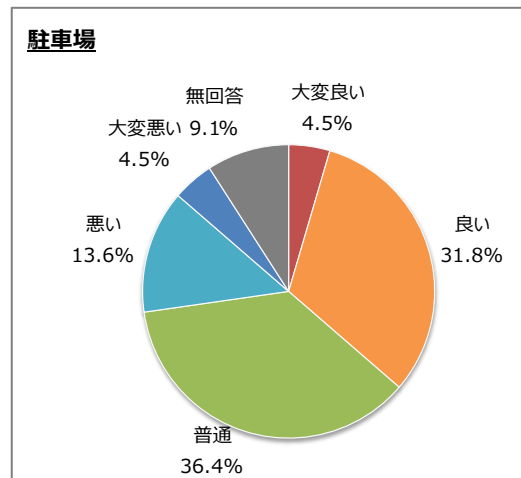
### 【提案】

- 駐車台数が不足するピークシーズン等は、路線バス・定期巡回バスの乗り入れ本数を増やす。(教育)
- MY遊バスのPRをさらに積極的に行う。(観光)
- 使いやすさ、駐車しやすさを重視し、一台でも多く駐車できるようにシンプルなスペースに整備する。(子育て／観光)
- 雨天時に高齢者や障がい者が乗降する際の配慮として、雨除けの屋根等を設置する。(高齢者／子育て)
- 駐車場所から正門エントランスまでの誘導を意識したサイン、ウッドデッキの遊歩道を設置する。(教育／子育て)

### 【考察】

アンケートでは「普通」と評価した参加者が36.4%で最も多く、次いで「良い」が31.8%となっている。

植物園らしさを演出する植生、レイアウトを好意的に評価する意見は少なく、「使いやすさ、駐車しやすさ」といった機能性、「日除け、雨除けとなる屋根の設置」といった快適性を重視した整備が優先されると思われる。



## 2. 土佐の植物生態園

### 【意見】

- 何度も来たことがあったが、里山や海岸などのゾーンがあることを、説明を聞いて初めて知った。(高齢者／観光／教育)
- ウシガエルが棲息していることに気が付いた。(子育て)
- ここから植物園が始まるという何らかの演出、導入のワクワク感が必要だと思う。(子育て)
- 興味がなければ植物名の名札を注意して見ないし、字の大きさが小さい。(観光／子育て)
- 自慢のポイントだと思われるのに、自慢しきれていないと感じる。(観光／外国人)

### 【提案】

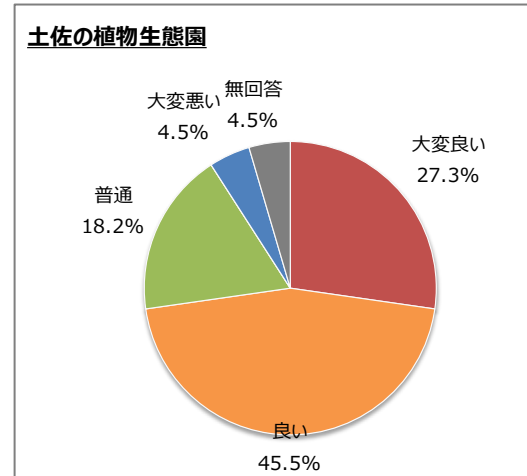
- 入口に大きな看板などを設置して、エリア全体のコンセプトや展示の内容について、説明やアピールをする。4つのゾーンに分かれていること等。(教育／観光／子育て)
- ゾーンごとの説明が必要。どんなゾーンなのか説明をわかりやすく行う。標高の掲示等。(教育)
- 押しボタン式、センサー式、端末貸与、スマートフォンアプリ等で音声ガイドを行う。(高齢者／観光)
- 高知県内で自生している場所(天狗高原の具体的な地名)などの説明、掲示をする。(子育て)
- 被写体と撮影者の立ち位置を示した、ベストショットを撮影できる場所の案内をする。(子育て)
- 土佐のイメージをもっと演出して盛り上げてはどうか。よさこい節のメロディを流す等。(子育て)

- ・ 棲息している生き物、見られる時期などの案内を設置する。(子育て)

#### 【考察】

アンケートでは「良い」と評価した参加者が45.5%で最も高く、次いで「大変良い」が27.3%となっている。

評価の高いエリアだが、これはガイドによる説明を聞き、その素晴らしさが伝わったからと推測される。意見、提案とも、展示の説明についての充実、改善点の意見が数多く出された。



### 3. 回廊

#### 【意見】

- ・ 牧野博士が発見した植物がポイントにあるだけ。距離があるので、道中の工夫が欲しい。(外国人／子育て)
- ・ 風が気持ちいいところで、景色も良かった。(子育て)
- ・ 坂が続くので、緩やかそうで結構きつく、高齢者や障がい者、車椅子の介助者は大変。途中で座ったり休憩できるスペースがほしい。(高齢者)
- ・ 札には木の名前があるが、もう少し丁寧な内容、見所の紹介、文字の大きさにしてほしい。(外国人／高齢者)
- ・ 風情があり、雨にも濡れずにいけるので、良かった。(教育)

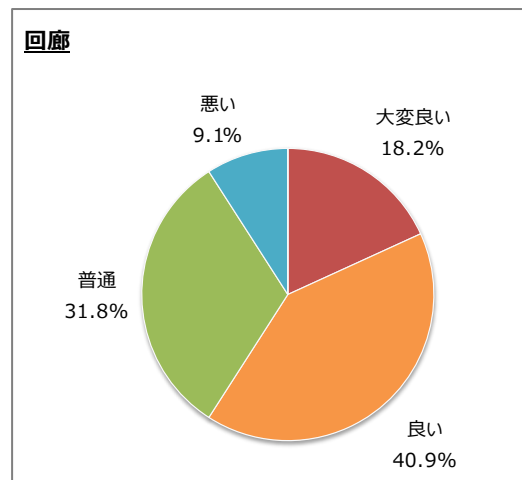
#### 【提案】

- ・ ここは植物を足元にではなく、腰の高さにしてサイドに置いて、渡ってもらう。その途中に、博士が発見した貴重な植物にスポットを当てていく。(子育て)
- ・ 障がい者で解説文を読めない子もいるので、音声、アナウンスがあれば子供たちの食いつきが違っていく。(教育)
- ・ ここには牧野博士がとても愛した「バイカオウレン」や「スエコザサ」が植えているので、そういうことを伝える場所になってほしい。(観光)
- ・ この回廊から南園の温室まで屋根が延びれば、天候に左右されずゆっくり散策ができる。(高齢者)

### 【考察】

アンケートでは「良い」と評価した参加者が40.9%で最も多く、次いで「普通」が31.8%となった。

回廊は屋根があり雨天、日除け対応ができると評価を受ける。ここは牧野博士が愛した植物が植わっているが、そこに目がいかず、移動のためと思われる節もあるので、広報、案内板の充実が必要。



## 4. 展示館中庭（牧野博士ゆかりの植物）

### 【意見】

- 著名人のアート作品と言われても、「そうなのか」という感じで埋もれている。(外国人)
- 植物に学名などが細かく書かれている。その中でもこれを見てほしい、というものには大きい表示があった方がよい。(外国人)
- 石段や通路の狭さなど、バリアフリーという点では厳しい。ただ、すごく自然をイメージでき、ほっとできる場所。(高齢者)
- 牧野博士ゆかりの植物がたくさんあることを、子どもにもわかるように表示、(看板案内)ができないだろうか。(教育)
- 今日は説明を受けながら歩いたので内容がわかったが、ここも説明がないとスルーしてしまう場所。何か引き込む仕掛けがほしい。(観光)
- 何となく通り抜けてしまう場所。逆光になるせいか、少し暗くて怖い感じがした。(子育て)
- 牧野博士ゆかりの場所というわりには存在感がない。階段を下りていく通路になっているので、滞在できない。どうすれば10分滞在できるかということを考えてほしい。(子育て)

### 【提案】

- 足の不自由な人が中庭を歩くのは厳しい。外側を乗り物などで移動できるような工夫をしてほしい。大型客船のお客様はご年配の夫婦が多く、足の不自由な人が多い。(外国人)
- 高齢者や車椅子の人は、中庭のすべてが回れなくても、バリアフリーになっている部分でコースをつくれませんか。(高齢者)
- 展示館の中身と中庭のゆかりの植物はセットで、牧野博士を感じる場所というのが植物

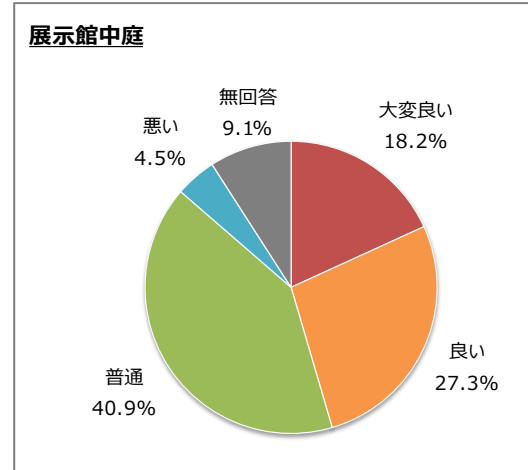
園の位置づけだと思うので、それをもう少しはっきりさせる方法を考える必要があるのでは。(観光)

- 隠れ小動物（人形等）などの遊びがあるとかわいい。ウサギがのぞいているのを子どもが見つかる。そこから葉っぱや花に興味を持ってもらえたら。(子育て)

#### 【考察】

アンケートでは「普通」と評価した参加者が40.9%で最も多く、次いで「良い」が27.3%となった。

牧野博士ゆかりの植物があるエリアという位置づけでありながら、それを伝えきれていないという意見が多かった。ここに滞在してもらうための工夫（スペースや仕掛け）も課題といえる。



## 5. さくら・つつじ園・薬用植物区・芝生広場

#### 【意見】

- 芝生広場は開放感があって見晴らしもいいので、人を連れていきたい場所。(外国人／高齢者／教育)
- 芝生広場は秋、色々な鳥が来て、落ち葉で遊んでいる。そういう姿をじっと見ているだけで癒される。(高齢者)
- 芝生広場（エリア全体）には木で作ったベンチや木の丸い椅子など、少し休憩できる場所があったほうがいい。(教育／観光)
- 中華圏の人はすごく漢方薬に興味があるので、薬用植物区を大々的に PR したらいい。きっと東南アジアの植物園の中でもここが一番ではないか。(外国人)
- 薬用植物区は少し人工的だけど、すごくいい感じの場所。やたらベンチを置くわけにはいかないと思うが、のんびりしたいときに座れる場所が欲しい。(高齢者)
- 芝生広場は子どもの遠足でお弁当を食べて遊ぶというイメージがあり、薬用植物区はお年寄りのイメージがある。異質なものが同じエリアにあるのはどうなのだろう。(教育)
- はじめて薬用植物区に行ったが、今までそこまで下りて行っていいのかわからなかった。案内があったかもしれないが、道中は気付かなかった。そういう人が多いのでは。(子育て)
- 薬用植物区は興味のある人が集うが、スマホのアプリなどを使ったガイドがあればさら

に充実した時間を過ごせる。(観光)

- つつじ園は少し貧相で、観光客に来てほしいのであればもっと整備が必要。今は中途半端な感じ。(観光)

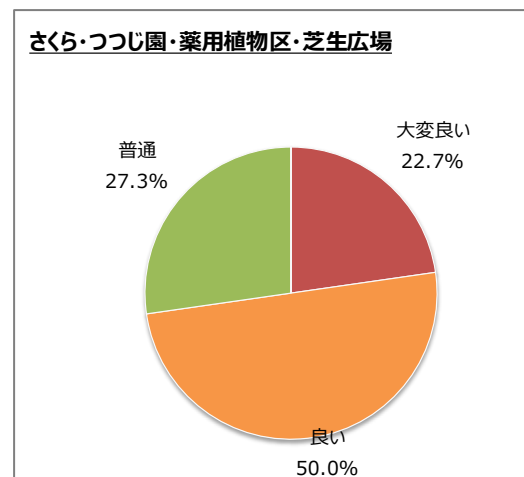
#### 【提案】

- 子どもにとってただ見るだけでなく、触ってみる、千切ってみる、舐めてみる、という五感を使うことは大事。そういうエリアがほしい。(教育)
- 漢方薬を使っている石鹸や化粧品があればよりエリアとつながる。(外国人)
- 芝生広場に恐竜があればいいと思った。子どもが遊べそうな場所にあるのが、一番喜ぶのでは。(子育て)
- 植物モチーフの遊具も欲しい。(子育て)
- 芝生広場は完全に休憩できる場所として授乳室をつくってほしい。斜めに設置されている椅子は子どもに危険なので、フラットな場所に。(子育て)

#### 【考察】

アンケートでは「良い」と評価した参加者が50.0%で最も多く、次いで「普通」が27.3%となった。

エリア全体ではゆっくり過ごせる環境づくり(ベンチや椅子、木蔭、授乳室など)の意見がでた。芝生広場には遊具や恐竜を置く、親子で遊ぶイメージ、薬用植物区はガイド(スマホ等機器を活用)があれば関心が高まる。



## 6. 連絡道・展望台

#### 【意見】

- 連絡道にある植物に名札はあるが、もう少しエピソードやこれは必見だという説明がほしい。(外国人)
- 展望台からの風景はそんなに綺麗ではない。これなら薬用植物区のほうがもっと綺麗。(教育)
- 展望台の入り口にどんな鳥がいるかという表示があった。巣があるなどの情報も入れれば親子で見て喜ぶのではないか。(教育)
- スタンプラリーによって、連絡道を道草しながら花を見る楽しさを知った。(観光)

- 連絡道から展望台へ向かう途中、石を敷きつめている場所があった。おそらくベビーカーや車椅子の人は、そこへ行くのは難しいのではないか。(観光)

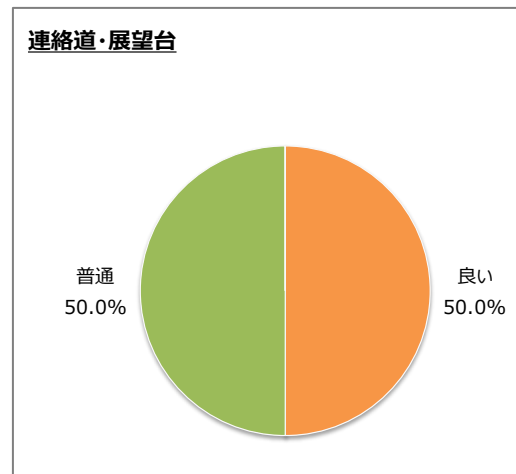
**【提案】**

- 展望台に「こちらをみたら桂浜、こちらをみたらどこ」という案内板があれば、もっと子どもが関心を持つのでは。(子育て)
- ローズ園頑張ってほしい。ローズの長いトンネルがあって、抜けたところに展望台があれば非常にメリハリが生まれる。(子育て)
- 柔らかなクッションのような木のチップを敷きつめて、連絡道にしたらどうか。高齢者にも子どもにも優しくなる。(観光)

**【考察】**

アンケートでは「良い」と「普通」がそれぞれ50.0%と、評価を分けた。

見晴らしだけではない展望台の意義や位置づけ、連絡道にある植物の解説など、ここを通過する楽しさの演出が求められる。スタンプラリーは有効な手段のようだ。



## 7. 混々山

**【意見】**

- 登り口に山の特徴などを説明した案内板があればいいが、まったく存在感がないので、上がっていったいいのかと疑問になる。(外国人／観光／子育て)
- 石段がきついで、年配者は無理だし、道中に何もないので、今のままでは若い人も上がらない。(教育)
- 高齢者にはあの石段はつらいし、もし転んでケガをしたらいけない。(観光)
- 混々山のテーマ、何をアピールしたいのか。ポイントがわからない。(観光)
- 子どもは五重塔が見えるとわかれば上がるかも知れない。(子育て)

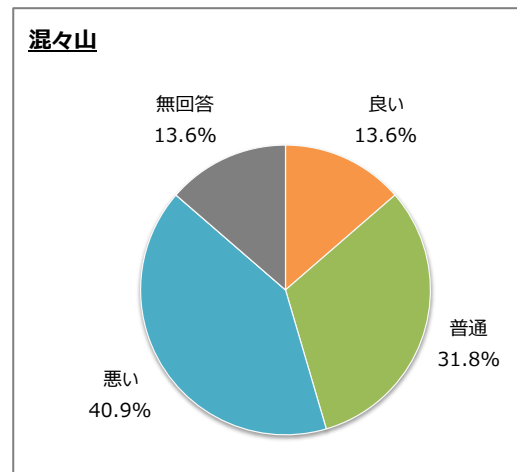
**【提案】**

- 展望がいいので、そこで休憩して食事ができると価値が出てくるのではないか。(観光)
- 案内で「混々山をちょっと上がると素敵な風景が待っています！」の一言を。そういう意識を変えるデザインや言葉があれば。(子育て)
- 子どもたちのスケッチ場所にならないだろうか。(子育て)

#### 【考察】

アンケートでは「悪い」と評価した参加者が40.9%で最も多く、次いで「普通」が31.8%となった。

かなり厳しい評価の中で目立った意見に、混々山の見どころなどを伝える必要、とあった。また前向きな意見もあり、今後の工夫のヒントになりそうだ。



## 8. 土佐寒蘭センター

#### 【意見】

- 寒蘭が咲いていない時季に、その時季に咲く花を飾るのはすごく良い。(外国人)
- 寒蘭が咲く季節以外は、入らないというか素通りする場所。(高齢者／観光)
- 外観のコンクリート感がすごくて、あまり入りたいという気分にならない。ちょっと息苦しい感じ。(教育)
- 寒蘭は花が咲かないと地味。葉っぱの形を見てもわからない。開花している写真をあわせて飾った方がいい。(観光)
- ここだけ一般の来場者を無視している感じ。子どもが一緒だと、下手に触られたらと思うと、怖くて避けてしまう。(子育て)
- 写真を置いてもいいが、寒蘭が無い時は閉めておいたほうが、メリハリがあるのでは。(子育て)

#### 【提案】

- ポップ等を使って、希少な寒蘭があること、観賞方法、咲く時期などを知らせれば、その時期に再度来てくれるかも。(外国人)
- 子どもの身長からすれば、花があまり見えないので、もう少し低い位置に展示したら、目線が揃って面白い。(教育)
- 花菖蒲は2カ所あったので、ここも菖蒲か、となる。それなら朝顔を飾り、「朝顔の種ブ



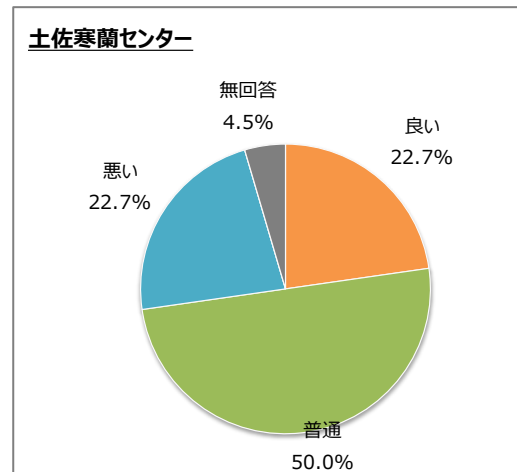
レゼント」とあったほうが喜びそう。(子育て)

- できるだけ自然に戻したほうがいいので、鉢で飾るより、自然に植えた方がいいのでは。自然な生育環境は建物の中では難しいが、話題にならないか。(観光)

#### 【考察】

アンケートでは「普通」と評価した参加者が50.0%で最も多く、次いで「良い」と「悪い」がそれぞれ22.7%となった。

ここは比較的厳しい意見が多く、コンクリート建物の違和感、花が咲かない時期の寒蘭の見せ方などに、意見が寄せられた。



## 9. 資源植物研究センター

#### 【意見】

- 一般に公開されていないので、何をしているのだろうといつも思っていたが、研究内容を見て、すごく感動した。(高齢者)
- 植物の展示とは別に、植物が持つすごさや有効性をもっとアピールしたらいい。(高齢者／観光)
- 入口にある恐竜は、ちょっと違和感がある。(観光)
- 専門研究だからこの場所にあるのかという疑問が湧く。もっと牧野発の情報や商品、企業とのタイアップの部分が見えてくると凄いと思う。(子育て)
- 匂いだけで健康になった感じがした。(子育て)

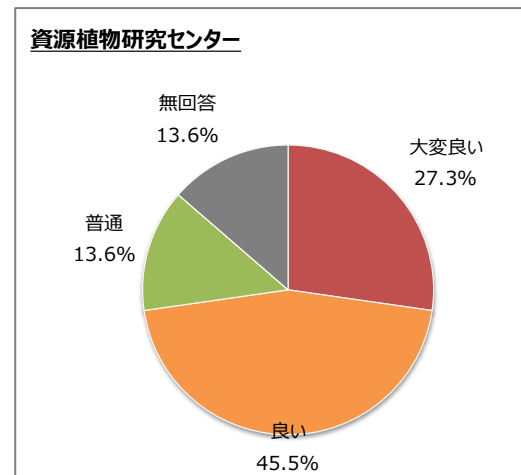
#### 【提案】

- 子どもが実験できる場所があればいい、博士体験コース。(高齢者)
- 体験的な感じで、匂いを活かす。皆が一番わかりやすく「うわー」と声が漏れたくらいだから。それで研究内容を知ってもらおう。(子育て)

### 【考察】

アンケートでは「良い」と評価した参加者が45.5%で最も多く、次いで「大変良かった」が27.3%となった。

悪い、大変悪いという評価はなく、好印象だった。一般公開されていない施設だけに意見は少なかったが、薬用を活かした体験の提案などがあった。



## 10. 日本伝統園芸植物観賞棚

### 【意見】

- 日本伝統の植物の鑑賞の仕方がわからないところがあるが、説明されてよく理解できた。(外国人)
- 屏風があって、すごく雰囲気が出ていた。(外国人)
- 最近は花屋でも和物の花は見かけないので、日本伝統の花があるのは、子どもの教育によさそう。(外国人)
- とても綺麗で素敵だった。(教育)
- イベント的でいいのではないか。植物園は草木が多いので、インパクトはある。(観光)
- 日本的な感じで、季節感があるのがいい。(子育て)
- 畳を敷いて、日本の伝統的なものを見せる、外国人向けの雰囲気がした。そうであればなぜ英語表記がまったくないのかと思う。(観光)
- 美しいけど、異質な感じがした。現在の場所にある意味があるだろうか。(観光)

### 【提案】

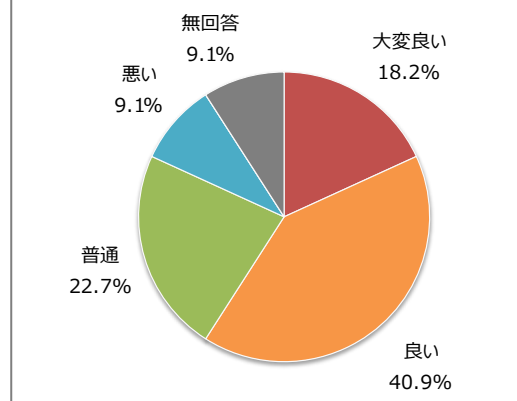
- 高齢者で、花を目当てにしているカメラマンが多いので、花の撮影講座などを頻繁にすると人が集まりそう。(高齢者)
- 展示される花の年間予定があれば、楽しみにする人が多いのでは。(教育)
- フォトスポット「ここで写真を撮ったら綺麗ですよコーナー」をつくる。(教育)
- 花にプラスして、何か「もう一つ」が必要な場所になればと思う。和の文化を楽しむ場所、あるいは地域（近隣の保育所、幼稚園、小学校等）とつながった場所。(子育て)

### 【考察】

アンケートでは「良い」と評価した参加者が40.9%で最も多く、次いで「普通」が22.7%となった。

花にスポットが当たっているのに、人や地域を巻き込んだらどうかという好意的な意見、提案があった。その反面、違和感がある、外国語表記の整備に指摘があった。

日本伝統園芸植物観賞棚



## 11. ガーデンショップ「nonoca (野の花)」

### 【意見】

- お菓子等の試食、ワインも置いてあり、色々な商品があった。(外国人)
- 植物園に来たらいつも立ち寄るが、商品のvariety映えがしない。(高齢者)
- 入口で花を販売していたが、もう少したくさんあったらいいのでは。好きな人が多いので、楽しみに山野草を求める人がいる。(高齢者)
- ここでしか買えないオリジナルのものはどれなのか。このイチオシの案内がほしい。(教育)
- レジに人がいない時があった。(教育)
- 店内は少し狭い気がする。色々な商品があるので、もう少しゆっくり見られる空間にしてほしい。(観光)
- 上のレストラン横にあるショップよりは特色があって良かった。ただ、外から歩いていると気づかない人もいるのではないかと。(子育て)
- 優しい商品がメインだと思った。ただ、植物園や牧野博士と関係ない商品も多かった。(子育て)
- お酒を販売していたが、買った来場者が移動するのに、その持ち運びが大変。お酒等の販売場所をもっと検討するべきでは。(観光)
- ショップのスタッフに聞くと、アジア系の外国人は柚子のお酒、そうでない人は和紙を買うとのこと。ここの植物園の良さを感じてもらえていない。(観光)

### 【提案】

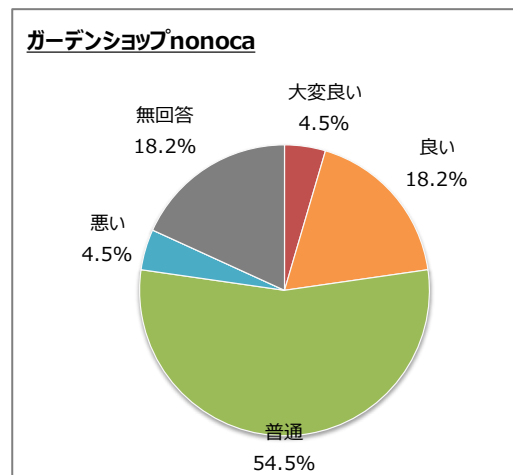
- 今日とはまたま温室前で花の販売をしていたが、ショップをはじめ、数カ所で花の販売をすればどうか。(高齢者)

- 匂いが特徴の商品（例えば薔薇の砂糖等）を売っているのに、テスターがないので、購入まで至らなかった経験がある。テスターは必要。（教育）
- 生薬を使った売れる商品を開発してほしい。（外国人）

#### 【考察】

アンケートでは「普通」と評価した参加者が54.5%で最も多く、次いで「良い」が18.2%となった。無回答も18.2%。

ショップの意向もあるだろうが、牧野関連商品や、それ以外の品揃えに厳しい意見がでた。牧野関連の商品情報やお店のイチオシ商品情報など、店内に入るとひと目でわかる工夫も求められる。



## 12. 温室

#### 【意見】

- 温室は素晴らしい内容、規模だと思う。友人、子どもと一緒に来た時は、写真をずっと撮った。撮影スポットのよう。（外国人）
- 室内に休憩できるベンチなどが良い感じで置いてあった。（外国人）
- 通路が狭く、ごちゃついているので、障がい者、車椅子の人にはちょっと難しい。（高齢者／教育／観光）
- イベントの時にオルガンやバイオリンの演奏をしている。その時は優雅な気分入室できる。（高齢者）
- 子どもたちは生き物が好きなので、温室で魚を発見した時は、面白いと思った。小さな魚が泳ぐだけで、全然違う。（教育／子育て）
- 道順、進路方向がわかりづらかった。少し迷った感じになった。（観光）
- 狭く感じる温室なのに、ウッドスペースにテーブルが2つ、椅子が8つ、あのスペースには邪魔。それなら小さい椅子をいくつか置くだけでいい。（子育て）

#### 【提案】

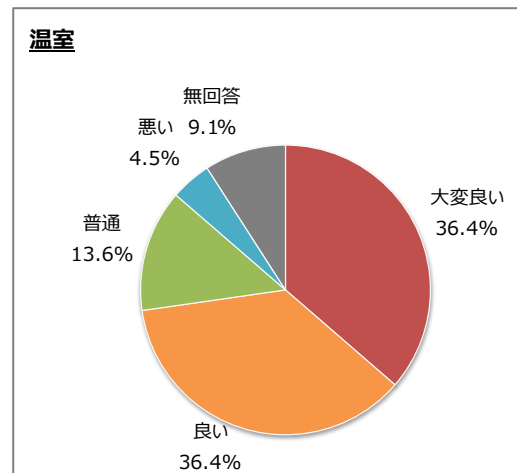
- 温室にバナナの木があった。売っているバナナしか知らない子どもたちが、木からできることを知ったり、パパイヤの実もあり、「さがしてみよう」と勉強と探検を兼ねたら、とてもいい教育になる。さらに、本当にバナナが食べられたらもっと良い。（教育）

- 途中で1カ所、「もう少ししたらハスが大きくなって、ハスの裏側を見ながら歩ける」とあった。何月頃とひと言書いておけば、リピーターになるきっかけになる。(子育て)
- 熱帯の植物が高知の植物園にあるというのは、近県の人からすればいいが、本来は高知を代表するものを展示していくような内容に変えていくべきだという気がした。(観光)

#### 【考察】

アンケートでは「大変良い」と「良い」がそれぞれ 36.4%と、高い評価を受けた。各施設エリアと比較しても点数は高い。

しかし、通路の狭さやごちゃつきなど課題も指摘された。温室と子どもたちの教育が繋がれば、将来の植物園のファンづくりになる。



### 13. 少年広場・結網山

#### 【意見】

- はじめて行ったが、もっとこういう見晴らしという立札があればわかりやすい。(外国人)
- 知る人ぞ知る場所として、このままに。自分だけのお気に入りの場所にしておく。(高齢者)
- 結網山へ行くには足場が悪かった。また上り口に藤棚があったが、葉っぱが少なく日陰ができそうになかったので、子どもたちを休ませる場所にならない。(教育)
- 少年広場も子どもたちが走るには狭い。(教育)
- 結網山から浦戸湾が見えるというが、展望台からも見えるので付加価値がない。あの階段を上がっていくには、それだけの魅力が必要。(観光)
- 結網山は一人で行くとちょっと怖いと思う。(観光)

#### 【提案】

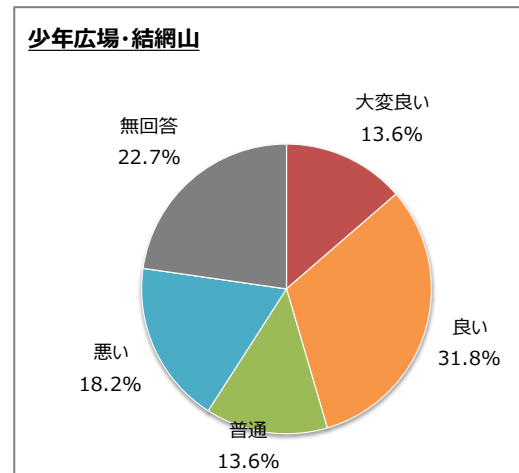
- 少年広場はいつも人がいないので、もっと活用案を。例えば野外コンサートはどうか。起伏がなくてフラットだから。(高齢者)
- 閉館している時間帯だが、きっと夜、結網山から見る月は綺麗だろうと思った。(外国人)
- 遊具があったらいい。恐竜もここに。そうして園内マップに恐竜のアイコンを載せれば話題に。(子育て)

- ここはキウイがあったり、いろいろな実がなっているので、うまく掘り起こせば非常に面白いエリアになる。牧野博士は色々な山の中で発見しているので、「牧野博士エリア」にして、博士が見つけた植物を子どもたちに集めてもらう。(観光)

**【考察】**

アンケートでは「良い」と評価した参加者が31.8%で最も多く、次いで「悪い」が18.2%となった。無回答は22.7%。

参加者によって極端な評価となった場所だ。意見を見ると、改善点多々あるが、将来の展開が期待できるエリアといえる。



**14. 50周年記念庭園・蛇紋岩植生園・石灰岩植生園**

**【意見】**

- ここだけでなく、全体的にも日本語の案内が欲しいし、外国語はあまりないので、整備が必要。(外国人)
- 50周年記念庭園で行っていた「花皿鉢」でチューリップが咲いている時に行ったが、すごく綺麗だけど、植物園でそれなのかなという若干の違和感もあった。今の形のほうが地味だが良い。(教育)
- 「花皿鉢」はすごく印象に残っている。観光客にもかなり宣伝した。(観光)
- 本当に休憩スペースが少ない。ウッドデッキに四角いスペースがあったが、暑い夏を考えたら日除けがないと厳しい。(子育て)

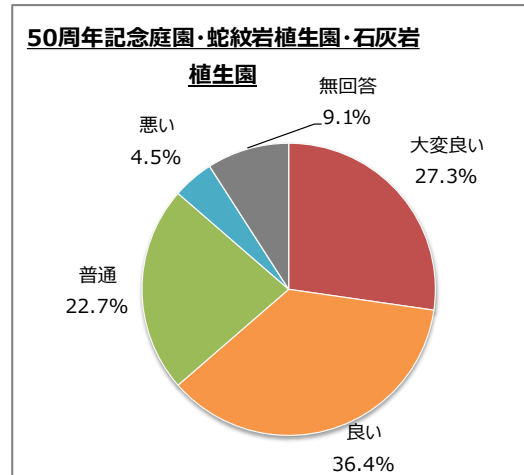
**【提案】**

- 池がたくさんあるので、子どもは水を見たら入りたがる。子どもが植物と水辺に触れあえる場所のひとつとして、とても良い。(教育)
- ホタルを育てるのはここがいい。もしホタルを夜の演出として取り入れることができるのなら、広いし、どこからでも見られる。(子育て)

### 【考察】

アンケートでは「良い」と評価した参加者が36.4%で最も多く、次いで「大変良い」が27.3%となった。

バリアフリー化された通路、イベントの印象、親子で植物や水辺との触れ合いなど、高い評価を受けている。ただ、休憩スペースや日除け等の意見もあった。



## 15. 曲水の庭・お馬路・牧野富太郎像

### 【意見】

- 以前は芝生が生えた広場だったが、今は木道になってしまった。それが困んでいるので、せせこましい感じがする。(教育)
- 水辺に行けることがすごく良かった。綺麗な場所。(教育)
- 牧野博士の像を撮るには、もう少し掃除が必要。(子育て)

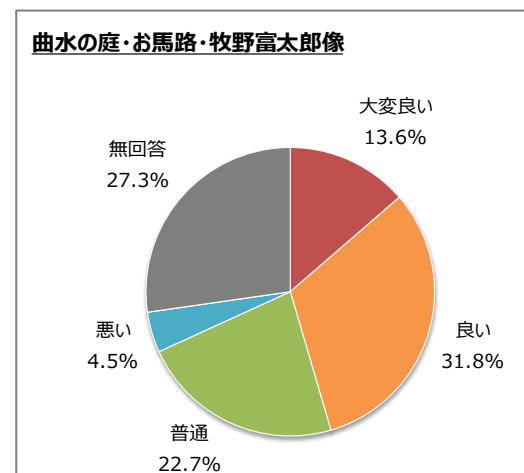
### 【提案】

- 純信・お馬のストーリーがあるので、はりまや橋と一緒に盛上げていければいい。(外国人／観光)
- この奥あたりに子どもたちが遊べる動線ができれば、楽しみが増えそうだ。(教育)
- あえて高い像ではなく、地面に下ろして、横に並んで撮影できるようにする。(子育て)

### 【考察】

アンケートでは「良い」と評価した参加者が31.8%で最も多く、次いで「普通」が22.7%となった。無回答は27.3%と高い。

50周年記念庭園エリアと近いため、意見が混同していた。お馬路、牧野富太郎像の話題が多く出された。



## 16. その他、園全体に関する事柄等

### 【施設（ハード面）に関する事柄】

- 駐車場は一方通行で、どこが空いているかわからない。また駐車スペースの区切りもわかりづらい。(観光)
- もう少しバリアフリーに気を使うべき。(外国人／高齢者／観光)
- 足の悪い人などのために、一部だけでも移動できる手段（モノレール、周遊バス等）ができないか。(外国人)
- 南園のトイレは洋式が3つ、和式が3つあり、外国人観光客や足の悪い人にとって配慮されている。良く清掃されていた。(外国人)
- 回廊から温室までの経路で雨に濡れないようになれば、高齢者も車椅子の人も、雨天に左右されず散策ができる。(高齢者)
- 全体的にトイレの数が少ない。各所にあるほうがいい。(高齢者／観光)
- 駐車場から入口（土佐の植物生態園）まで順路がないので、間違えてしまうこともある。(教育)
- 園内にゆっくり座れる場所が少ない。もっと色々なエリアに椅子や木陰がほしい。(観光)
- 可能な限り木のチップを敷いて、バリアフリー対策にしたり、木を足で感じる道になればいい。(観光)

### 【施設（ソフト面）に関する事柄】

- 植物についての説明を充実させる。年配者も多いので、文字は今より大きいほうがいい。(外国人／観光)
- 植物園を1日ですべて見て回れる訳ではないので、入口でこの時期のポイント、エピソード等がわかる資料・チラシが欲しい。(外国人／子育て)
- 場所によっては看板でしっかり特徴を説明してほしい。(外国人)
- 植物紹介にポップ等を使えば目を引く。(外国人)
- 中国語にしても、英語にしても、外国語の表記がまったくない。(外国人／観光)
- 生ガイドは難しいと思うが、ボタンやセンサーで音声が流れたり、スマホ等アプリで各エリアの説明を聞くようにできれば、来園者に植物のことや、この植物園の価値がわかってもらえる。高齢者も知識が増えることに喜びを感じる。(高齢者／教育)
- 年中イベントがある。例えば薬用植物区にあるものや、ハーブを使った簡単なお料理教室などがあれば参加したいし、行く機会が増えれば年間入園券を買いたくなる。(外国人)
- バリアフリーでいける1時間・2時間といった、車椅子散策コース、シルバーコースが設定されれば、もっと楽しく回れるようになる。(高齢者)



- 雨の日に限ってしおりをつくるなど体験イベントがあれば、集客につながる。(高齢者)
- 子どもが白衣を着て実験できる体験も必要。(高齢者)
- 高齢者の趣味にカメラ撮影があるので、皆さんよくカメラをぶら下げて来ている。撮影講座も人気になるのでは。(高齢者)
- アスレチックまでいくと公園になるが、大きな木の枝にブランコをぶらさげてとなれば、子どもは嬉しいし、夢が広がる。(教育)
- 写真を撮影するポイントがたくさんあるので、それを活かした撮影スポットをつくり、紹介する。それをInstagramやFB等にアップしてもらうよう働きかける。(教育／子育て)
- 「花ことば」を子どもたちに伝えることで、植物の楽しみやファンを増やす。(教育)
- 標識であと190mというだけでなく、だいたいの時間の目安を書いてあげれば親切。(観光)
- 子どもが自由に葉っぱに触って、千切って、匂いを嗅ぐ、走るという「好き放題エリア」をつくる。(教育／子育て)
- 子ども向けに半日体験プログラムを企画する。この施設を使っていろいろなアクティビティをする。そうして、小さい頃に体験した記憶を持たせて、次世代のファンづくりをする。(観光)

#### 【広報、集客手段に関する事柄、その他】

- 小学校に牧野植物園の案内が来たことがない。(教育)
- 遠足や社会見学など、坂本龍馬記念館など他の施設と一緒にあって受け入れを進めていけば入園者数が増える。(教育)
- 観光施設にもポスター等を貼り、宣伝をしていく。一度来てもらえれば、植物園の魅力が伝わるはず。また観光案内所にも積極的に売り込んでPRしてもらう。(観光)
- 竹林寺には大勢の外国人が来るので、うまく連動する必要がある。(外国人)
- 団体のツアー客のことを考えれば、長時間見ることはできないので、時間に余裕があるツアーには2～3時間、余裕がないツアーは1時間など、見どころを整理して旅行会社に売り込んでいく。(観光)
- 子どもは葉っぱを引っ張るが、絶対に引っ張ったらいけない今の雰囲気は、気軽に親子連れが来づらい感じがする。その解消が必要。(子育て)
- 五台山の入り口から牧野植物園に着くまでの演出、ワクワク感が欲しい。(子育て)
- 近隣の保育所、幼稚園、小・中学校など地域とつながる植物園に。1か所でもいいので、子どもたちの絵を飾ったり、学習成果を発表。そうすると親御さんが見に来る。(子育て)
- 今日回っている最中に、スタッフが全然見当たらなかった。いろいろな人が「出口はどこですか」「これは何の木ですか」と聞いてきた。ここは観光場所なのか、研究施設なのか、どちらに重きを置きたいのか。(子育て)

- 色々なお母さんたちにヒアリングしたが、意外に来たことがない人が多くて驚いた。その理由として、「男の子は花に興味がないだろう」といわれた。(子育て)
- 植物園を出た後、カフェでのんびりして帰るといふ人のために、上の部分だけでも回遊できるように整備する。それも植物園に行く動機にならないか。(観光)
- なぜ五台山に牧野博士の植物園があるのか、その意志を継いで高知県が造った植物園だということが、施設から伝わってこない。(観光)
- 入場料(一般 720 円)が高いという声がある。講座やワークショップもあるので、当日だけなら 400 円、入場料を買えば 1 ヶ月有効みたいになれば、人が来やすいのでは。(観光)

## 総評 (分野ごとの視点)

---

### 【教育分野】

周辺施設と手をつなぎ合って、  
子どもを呼び込むという手段もある。

一般の人が持つ植物園のイメージ=観賞だけでなく、子どもにとっては植物に触る、匂いを嗅ぐ、千切ってみる、舐めてみる、モノづくりをする、走り回る。そういう体験ができるエリアがあれば、遠足の時など、もっと親しみを持ち、ワクワク感になっていく。また、学習教材の素材はたくさんあるので、それを組み合わせれば、遠足でも、環境学習でも、対応できる。子どもの遠足・学習用に半日コースを設定してもらえれば、学校側は嬉しい。希望をいえば、子どもたちは飲み物を持ってくるが、途中で飲みきってしまう。お弁当を食べる時などはお茶がなくなって困る子もいる。そんな時に給水器などがあり使わせて頂ければ有難い。

社会見学の場合、例えば坂本龍馬記念館に行って勉強して、牧野植物園でご飯を食べて、自然の中で遊んで帰るといふコースがある。一施設というより他の周辺施設と手をつなぎ合って、子どもたちを呼び込むという手段もある。(施設によればバス代の補助がある)子どもが家に帰り、牧野植物園のことを親御さんに楽しそうに話をするようになれば、きっと次は家族で来てくれることにつながるのではないだろうか。

### 【高齢者分野】

高齢者、車椅子など、それぞれで  
1～2時間のモデルコースを作成。

高齢者に限らないと思うが、ここは人に優しい、親切な施設とはいえない。駐車場からチケット売り場まで距離があり、雨の日には車椅子の人、障がい者の人、介護者もかなり濡れる。タクシー降り場からでも同じ。景観を壊さないような屋根が入口までであると助かる。回廊の坂も、緩やかそうでけっこうきつい。温室の通路の狭さ、石段もけっこうあり、洋式トイレの数、ベンチなど休憩する場所も少ないので、バリアフリーとは程遠い。できる所から、整備はしていてもらいたい。

しかし、植物園の内容は評価が高い。だからこそ、お薦めのポイントがあり、バリアフリー化された部分でつくられるモデルコースや、車椅子1時間コース、2時間コースなどの設定があれば、それぞれを参考に園内を回っていきける。

また、知識を得たい人も大勢いるので、園がお薦めのポイントに、スマホのアプリ、あるいは専用の機械でガイド・説明があれば、楽しく学ぶことができる。

スタンプラリーを達成すると何かもらえるという軽い感覚は、高齢者は好きなので活用できる。また写真撮影を趣味にしている人も本当に多い。孫が喜ぶ場所に一緒に遊びに行きたい高齢者は多いので、「子どもが行きたがる施設にする」ことも大きなポイントになるのではないだろうか。

### 【子育て分野】

子どもが楽しめるエリアを設けて  
植物が好きな人と、ともに楽しめる施設に。

牧野植物園は花や植物が好きな人が来る場所のイメージであり、子ども（男の子）が勝手に葉っぱを千切ったらどうしようと親は心配する施設。そんな真面目な場所だからこそ、ちょっと角度を変えてみる。

車で五台山を登っていく段階で、牧野植物園を感じさせるワクワク感を演出できないだろうか。例えば、沿道の誘導板に描かれた花の色が白から次第に赤に変わっていくと、大人も子どもも見ていて楽しい気分になる。土佐の植物生態園にはプレミアム感をだして音楽（例えば外国人向けによさこい節のオルゴールバージョン）を流すとか、家族でお弁当を食べられる芝生広場には植物モチーフの遊具や恐竜、博士の銅像は高い位置ではなく地面に降ろし撮影スポット、子どもが自由に葉っぱを千切り遊べるゾーン、水遊びができるゾーン（噴水で、下から水があがってくる程度でも）など、子どもがワクワクする部分があればと考える。

とても広い園内なので、入場口で1枚ものペーパーでいいので「今日（この季節）咲いている花の見どころ」をもらえると、それを参考に時間にあわせて効率よく回れる。また、小さい子ども連れの家族もいるので、休憩できる場所として授乳室が各所があれば助かる。夜の植物園以外にも、月に1、2度程度の調整がつく範囲で営業を延長して、若い人のデートコースに活用できないだろうか。

#### 【観光分野（インバウンド）】

中華圏は漢方薬に関心が高いから、  
薬用植物区は大々的にPRすればいい。

県内に住む国際交流員が「私たちの好きな高知の場所」に五台山や竹林寺が上がっている。外国人観光客には竹林寺はすごく人気がある。そういった人が牧野植物園にも立ち寄るような工夫、情報発信は必要。案内板や花木の解説、エピソード、トイレまでの案内など、施設全体として外国語表記が少ない。また、外国人からするとここの知識が少ないので、園で一番アピールしたいトップ3ぐらいまでのポイントを、具体的に絵や写真、解説で伝えていくと、もっと楽しめる。大型客船で来る観光客は足が悪い人、年配のご婦人も多いため、一部だけでもカートなど移動手段が使えると思う。また、トイレの数も少ない。

外国人は自分で調べて移動する人が多く、情報発信もするので、各エリアでWi-fiが出来るようになったことは評価できる。園内に遍路道があることは、貴重ではないか。ここを整備して、外国人に歩かせるよう情報発信すれば、興味を持つ人が増えると思う。つつじ園、薬用植物区は眺めが良く、外国人に見てほしいポイント。特に中華圏は漢方薬に興味がある人が多いので、この場所を見た後、ショップで漢方薬を使っている石鹸や化粧品を販売していたら、きっと爆売ではないだろうか。大々的にPRしたい場所の一つ。

#### 【観光分野（事業者、観光協会、その他）】

自慢の場所を伝える仕組みさえあれば、  
牧野植物園の楽しさは倍増する。

なぜ五台山に牧野富太郎博士の植物園があるのか。ここは博士の意志を継いで造られた植物園だということが、明確に伝わってこない。説明を受けて感嘆する個々のエリアのポイントや場所がたくさんあるのに、もったいない。今はスマホがあるので、番号を検索してアプリで音声で聞けるなど、工夫ができそう。自慢の場所を伝える仕組み（ガイド、音声ガイド、解説文、その他）ができ、そのストーリーや素晴らしさが伝われば、園の楽し

さが増える。

植物に関係ないが、ここはよさこい節で有名な純信・お馬の、純信がいた場所。はりまや橋から五台山に上がって、牧野植物園にというストーリーも描ける。大勢の人に関心を持ってもらうことが大事。

ピクニック気分の家族連れ、観光客、植物好きの人など、色々な人にゆっくり見てもらうために、もう少し気軽な価格帯で入れるカフェが何か所かほしい。スタンプラリーは普段行かない場所を周遊させ新しい魅力を感じてもらう手段としては有効。でも入場料の他に参加費として 100 円支払う意味は何だろうと思う。例えば、この 100 円で木が守られているとか、この花が植えられたなどとアナウンスされると意義が生まれる。カードは大人用、子ども用にわけて、1 回切りで終わらせず、何回か来たくなるようにできないか。